

# 先進的CCS支援事業

## 令和6年度概算要求額 70億円（35億円）

### 事業の内容

#### 事業目的

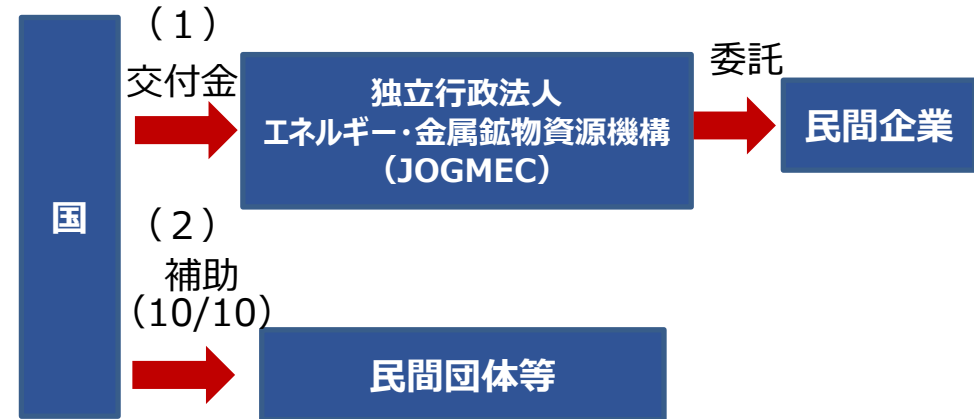
本事業は、将来のCCS事業の普及・拡大に向けて横展開可能なビジネスモデルを確立するため、2030年までの事業開始を目標とし事業者主導による「先進的CCS事業」を選定し、国により集中的に支援を実施。具体的には、CO<sub>2</sub>の回収源、輸送方法、CO<sub>2</sub>貯留地域の組み合わせが異なるプロジェクトから支援を開始し、多様なCCS事業モデルの確立を目指すとともに、2030年までに年間貯留量600～1,200万tの確保にめどを付けることを目指す。また、CCS事業化に向けては、特に貯留地域の理解を得ながら進めることが重要であることから、関係する地域の理解促進のために必要な環境整備事業も行う。

#### 事業概要

(1) 「先進的CCS事業」に関して、今年度は事業に必要な資機材の調達支援、地質データの再解析や解釈、事業性調査等を行う予定であるところ、令和6年度以降は貯留に有望な地域の適地調査や試掘、地上設備の詳細設計等の支援も行う。

(2) CCSに対する地域の理解促進に向け、関係する地域が行う説明会や勉強会の開催支援、CO<sub>2</sub>利用の観点を含めた産業振興戦略の策定や実施支援に要する費用等を補助。

### 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



### 成果目標

令和5年（2023年）から令和12年（2030年）までの8年間の事業であり、

- (1) 令和5年（2023年）から国内における二酸化炭素排出源を対象としたCCS事業の事業性調査および試掘事業を行い、
- (2) 令和8年（2026年）までに事業化に進む事業を選定し、
- (3) 令和12年（2030年）に年間合計600万～1,200万トンのCCS事業の開始を目指す。